

人とロボットが共生する社会へ



リアル

2024年

9月18日 水 ... 20日 金

東京ビッグサイト 東ホール

同時開催展

洗浄総合展 / VACUUM真空展 /

SAMPE Japan先端材料技術展 / スマートファクトリーJapan /

高精度・難加工技術展 / 表面改質展



オンライン

2024年

9月11日 水 ... 27日 金

出展のご案内

主催



一般社団法人 日本ロボット工業会
Japan Robot Association



日刊工業新聞社
The Nikkan Kogyo Shimben

Japan Robot Week 2024

人とロボットが
共生する社会へ

2012年に初開催した本展は、世界最大級のロボットトレードショー「国際ロボット展」の翌年に開催するロボット専門展示会として、隔年で開催し、今年で第7回目を迎えます。

産業用やサービスロボット分野はもちろん、協働ロボット、システムインテグレータを中核に、近年の広範なロボットニーズに対応する展示会として、より活発な商談・技術交流ができる場に成長を続けています。

自動化・省人化需要を背景に進む急速なロボット普及やAI活用の活発化、農業、物流、介護など人手不足が顕著な分野での導入ニーズ・課題対応の糸口となるべく、今回の開催では、革新的な技術を持つスタートアップやアカデミアのゾーンを新設します。さらに、展示会としては稀有な試みとして、会場内共有部でのデモエリアも設置します。「人とロボットが共生する社会へ」をテーマに、経済産業省の推進する「ロボットフレンドリーな環境構築」も意識し、業界内外の期待に応えられるイノベーション創出の場として、より社会実装を目指した展示会を開催します。

ぜひ、皆様のご出展をお待ちしております。

一般社団法人日本ロボット工業会／日刊工業新聞社

i 開催概要

■会 期：リアル 2024年9月18日(水)～20日(金)10:00～17:00
オンライン 2024年9月11日(水)～27日(金) ※27日は17:00まで

■入 場 料：リアル 1,000円(入場登録者、招待状持参者、中学生以下は無料)
オンライン 無料(登録制)

■後 援：経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
(順不同・法人格略・申請予定)

■協 賛：人工知能学会、日本機械工業連合会、日本ロボット学会、
日本ロボットシステムインテグレータ協会、
ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会、
ロボットフレンドリー施設推進機構
(五十音順・法人格略・申請予定)

■会 場：東京ビッグサイト 東ホール

■テ ー マ：人とロボットが共生する社会へ

■主 催：(一社)日本ロボット工業会／日刊工業新聞社



同時開催

東京ビッグサイトで、
7つの専門展を
同時開催!

Japan Robot Week

洗浄総合展

VACUUM真空展

先端材料技術展

スマートファクトリー
Japan 2024 秋

高精度・難加工技術展

表面改質展

全展において相互入場を実施いたします

出展対象

生活・暮らし

警備／受付・案内／接客／調理支援／清掃／
コミュニケーション／モビリティ／教育 など

インフラ・災害対応・建設

検査／補修／探索／各種作業用(原子力・電力・ガス・
宇宙・海洋 など)／土木・建設／研究開発／ドローン など

農林水産業・スマート農業

作業支援(パワーアシスト)／自動収穫／品質管理／
除草／食品(包装・梱包) など

物流・搬送

AGV・GTP・AMR／搬送機器・システム／
仕分け装置／ソーター／保管・ピッキングシステム／
各種周辺装置部品 など

介護・福祉・医療

移動支援／移乗介助／入浴支援／排泄支援／
リハビリ支援／見守り／手術支援／アシストスーツ など

ロボット導入・システムインテグレーション

システムインテグレーション／協働ロボット／組立用／
ピッキング用／整列・包装用／入出荷用／マテリアル
ハンドリングなど

AI・クラウドサービス

AI／生成AI／ボット／半導体／クラウド／AR・VR・XR／
自動運転／マッピング／機械学習／検知／分析／開発 など

要素技術・関連機器

コントローラ／ソフトウェア／モータ／ジョイント／アク
チュエータ／アーム／ハンド／ロボット外装／変減速機／
計測機器／センサ／歯車／ねじ／ケーブル など



特別企画デモエリア Robot Street (仮称)

会場内にてロボット稼働(デモ)が可能な通路を設置します。
来場者とロボットが交差する、新たなデモエリアをぜひご活用
ください!

本エリアに参加希望の方は、出展申込書のチェック欄に☑を付けてください。

注意事項

- 自律型ロボット、遠隔操作ロボットが対象となります。
- 実施エリア(通路)はJapan Robot Week 内かつ事務局が
指定した通路となります。指定通路以外での稼働はできません。
- 参加希望者には、後日送付いたします
「リスクアセスメント同意書」をご提出いただきます。

NEW!

出展者限定・参加無料



※画像はイメージです。



併催事業

第11回ロボット大賞表彰式・合同展示

■共催：経済産業省(幹事)/日本機械工業連合会(幹事)/総務省/
文部科学省/厚生労働省/農林水産省/国土交通省

国内で活躍した優れたロボットや部品、ロボットシステムなどを称える
「ロボット大賞」の受賞者による合同展示を行います。



THE ROBOT AWARD
ロボット大賞



この事業は競輪の
補助により実施しています。

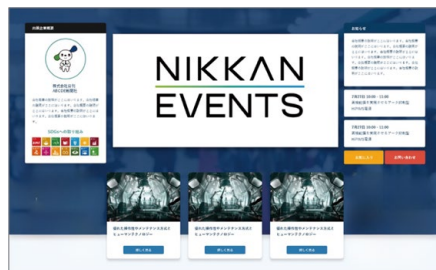


オンライン展示ブースの提供

※一部機能は有料オプションメニュー
としてご用意しております。

リアル出展いただくと一律でオンライン展示
ブースを付与いたします。オンライン展示
ブースでは基本情報のほか、製品・サービス
の画像や動画、詳細情報などの掲載が可能
です。リアル展示ブースへの誘客ツールおよび
リアル会期後のフォローツールとしてご活用
ください。

■オンライン展示ブースイメージ



有料オプションメニュー(予定)

閲覧者の
名刺情報提供



アンケート作成
および
ボタン設置



閲覧者との
チャット機能



ウェビナー
機能
(聴講者情報提供)



※オプションメニューの申し込み方法は出展者説明会でご案内
いたします。また、メニューは変更となる場合がございます。



来場プロモーション

紙面報道と連動した継続的な来場プロモーションにより、ユーザー・関係者層の動員を図ります。

国際ロボット展来場者への動員活動

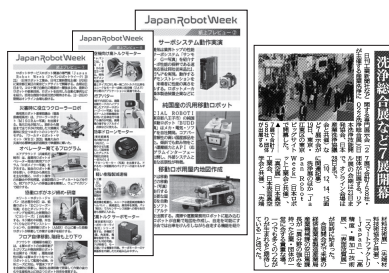
14万人以上の来場者が訪れる
世界最大級のロボットトレードショー



国際ロボット展は、日本ロボット工業会、日刊工業新聞
社が共催する、25回の開催を誇る世界最大級の
ロボットトレードショーです。2023年は4日間で14万人
を超えるユーザー、関係者に来場いただきました。
これらの来場動員・実績を基に、本展でもロボット
ユーザー、関係者を広く動員します。



日刊工業新聞



「日刊工業新聞」で全国全産業のユーザーに
対して告知・動員を図ります。社告や広告は
もとより、開催前の出展者の紹介、会期に
合わせた特集記事などを通じて、エンド
ユーザーの確実な来場につなげます。

Web・デジタルメディア

日刊工業新聞電子版

「日刊工業新聞電子版」で、展示会やロボット
の関連情報を掲載し、来場誘致
を行います。

日刊工業新聞 電子版



ニュースイッチ

日刊工業新聞のニュースを分かりやすく配信
し、幅広い層から支持を得ている「ニュースイ
ッチ」で、本展の最新記事、およびロボットの旬
なテーマを発信します。

ニュースイッチ
NEWSWITCH





小間タイプ・出展料金

1小間：約9㎡(W2.97m×D2.97m×H2.7m)あたり

日本ロボット工業会

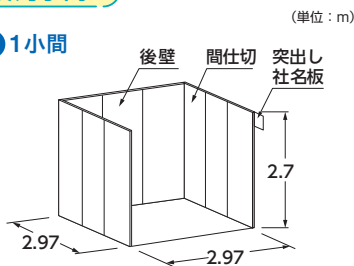
- 正会員 **330,000円**(税込)
- 賛助法人会員 **341,000円**(税込)

- 一般企業 **385,000円**(税込)
- その他指定団体*・自治体 **341,000円**(税込)

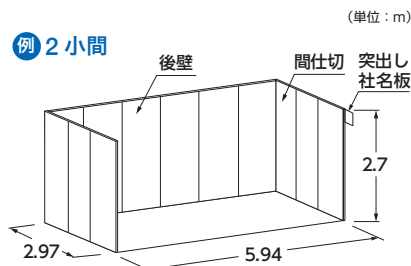
*日本ロボットシステムインテグレータ協会など、協賛団体の会員企業。詳細は事務局にお問い合わせください。

横列小間

例 1小間



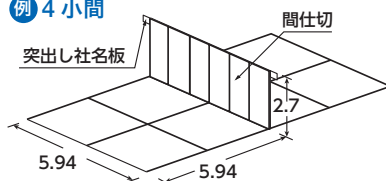
例 2小間



複列小間

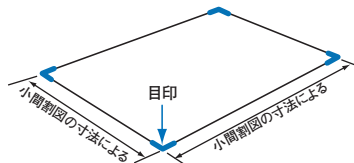
4小間以上の偶数小間

例 4小間



島小間

8小間以上から申込可



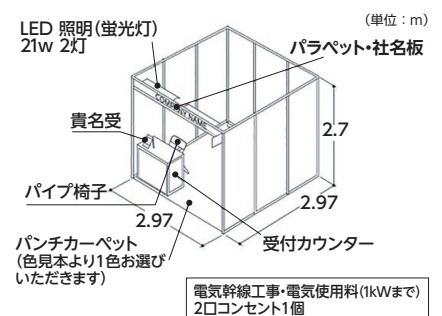
※いずれの小間にも電源・照明・カーペット等はありません。
※カド小間の場合、通路側の間仕切は設けません。
※壁面の取り外しは、隣接小間の有無に関わらず原則としてできません。

参考

パッケージブース

一括申込することで装飾手配の手間を削減!!

1小間仕様 出展料 + **99,000円**(税込)



※2小間以上についてもご用意できます。
※1kWを超える場合は別途電気工事をお申し込みください。
※基本パッケージは角小間でも社名版は1枚です。

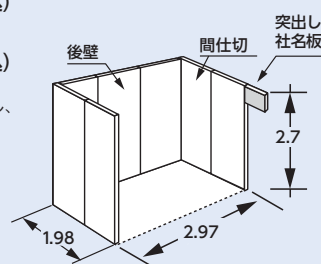
スタートアップ / アカデミアゾーン 1小間あたり

- 6㎡ブース **264,000円**(税込)
- パネル展示 **110,000円**(税込)

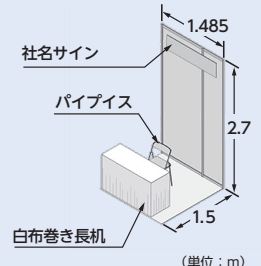
※スタートアップゾーン出展条件: 2019年以降に設立した、革新的な製品・技術・サービスを保有し、新しいビジネス成長を目指している企業。
※アカデミアゾーン出展条件: 高専・大学・大学院・研究機関。
詳細は事務局にお問い合わせください。

※いずれの小間にも電源・照明・カーペット等はありません。
※カド小間の場合、通路側の間仕切は設けません。
※壁面の取り外しは、隣接小間の有無に関わらず原則としてできません。

6㎡ブース



パネル展示



出展者セミナー

出展効果を高める様々な手法を自由に企画できる場として出展者に限り提供します。

展示だけでは表現しきれない新製品・技術・サービス、また導入環境や成功事例などの詳細情報を説明・発表する場としてご活用ください。申込受付は先着順とし、タイムスケジュールは事務局で調整します。

実施費用

1セッション(40分)
※アーカイブ配信可

110,000円(税込)

※聴講料は全て無料とさせていただきます。
※配布資料・アーカイブ配信動画は、発表者にてご用意ください。
アーカイブ期間: 9月23日(月)~27日(金)オンライン上で配信。

■タイムスケジュール

日時	18日 水	19日 木	20日 金
10:30~11:10	A	G	M
11:30~12:10	B	H	N
12:30~13:10	C	I	O
13:30~14:10	D	J	P
14:30~15:10	E	K	Q
15:30~16:10	F	L	R

実施イメージ



■会場内特設ステージ

■定員: 100名



出展申込要領

出展申込方法

申込書(別添)に必要事項をご記入のうえ、事務局までメール添付または郵送にてお送りください。

申込
期限

2024年5月17日(金)

出展料金のお支払い

申込書の内容を確認後、請求書を送付いたします。
【2024年6月21日(金)】までに必ずお支払いください。
※銀行振込のみ。それ以外のお取り扱いはありません。

出展契約の変更または取り消し

既に申し込まれた小間に対する変更または取り消しは、全て文書にてその理由を明記し、事務局の承認を得てください。出展取り消しに際しては次の通りキャンセル料が発生いたします。
■申込書受理日～出展者説明会前日まで…**出展料金の50%**
■出展者説明会当日以降……………**出展料金の100%**

小間位置について

小間位置については出展物の内容・形状・申込順位・小間数・会場構成等を総合的に勘案し、事務局で決定します。小間位置は**出展者説明会(2024年6月下旬予定)**にて出展者に発表します。



開催までのスケジュール

2024年5月17日(金)

出展申込
締切

6月下旬(予定)

出展者
説明会

8月上旬

諸届け
提出期限

9月16日(月)～17日(火)

搬入・装飾施工

9月18日(水)～20日(金)

会期
(終了後即日搬出・撤去)



前回出展企業・団体(2022年) ※印は共同出展者

あ

アテック
イマオコーポレーション
エアグラウンド
NTNテクニカルサービス
FA・ロボットシステムインテグレーション協会
FJ Dynamics Robot
エリートロボットジャパン
大田区産業振興協会
大道産業

か

クフウシヤ
クレスセント
クワンタービュー
経済産業省
計数技研
近藤科学

さ

さがみはらロボットビジネス協議会
※愛知産業
※アシスト
※アルマック
※F-Design
※大豊産業
※ビット・トレード・ワン
※メディアロボテック
※MEMOテクノス
山洋電気
JR東日本モビリティ変革コンソーシアム
シンフォニーマーケティング
スターライト工業
セック
SOCIAL ROBOTICS

た

第10回ロボット大賞合同展示
China Robot Industry Alliance
TechShare
東京都立産業技術研究センター
東京MICE先端テクノロジー実装プロジェクト
トーカドエナジー

な

日本ロボット工業会
NUWAロボティクスJAPAN

は

ひょうご産業活性化センター
福岡県半導体・デジタル産業振興会議
ホクショー

ま

マクソンジャパン
三重ロボット外装技術研究所
南相馬ロボット産業協議会

や

やまぐち産業振興財団
※伸和精工
※YOODS
ugo
吉忠 マネキン

ら

ラボラトリーオートメーション
レステックス
※Keigan
※テアアイティ
ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会
ロボット X コロナ対策 with かながわ2022
※神奈川県
※アリオ橋本・イトーヨーカドーアリオ橋本店
※ODAKYU湘南GATE
※徳洲会湘南鎌倉総合病院
※湯本富士屋ホテル
※NTTデータ経営研究所
ロボットサービスイニシアチブ
ロボットビジネス支援機構(RobiZy)
※アーク
※CuboRex
※ニッセイ
※Haloworld
※レスターエレクトロニクス
※ロボティクス・グーテンベルク

わ

World Robot Summit

かながわロボットイノベーション

あ

A・R・P
エクストコム
小川優機製作所

か

神奈川県
※神奈川県企業誘致促進協議会
※神奈川県産業振興センター
※かながわ産学公連携推進協議会
※川崎市産業振興財団
※さがみはら産業創造センター
※相模原市産業振興財団
※湘南産業振興財団
※横須賀市産業振興財団
※横浜企業経営支援財団
※横浜国立大学
KISTEC(神奈川県立産業技術総合研究所)
※アルケリス

※マイクロテック・ラボラトリー
川崎市産業振興財団
カンタム・ウシカタ
キュー・アイ
慶應義塾大学ハプティクス研究センター
コロパス精機

さ

サーボテクノ
相模化学金属
サクラテック
昭和精工

は

バリューソリューション
日の出製作所
Plus Composite JAPAN

ま

MANOI企画/ロボットゆうえんち

モノづくりパビリオンwithかながわ

あ

飯田製作所

か

カミコー
川本重工
工苑

さ

GBS
セルテクノス
※高橋精密工業

た

高井精器
ツジマキ
東京エレクトロニクス
東京端一
東京特殊印刷工業

な

日本マシンサービス
※テクトレージ

ま

マイクロネット

や

よこはまファクトリー
※安田製作所

わ

ワード技研
※コーフ機械

(五十音順)

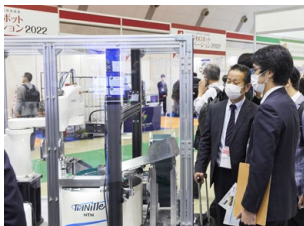
前回開催実績(2022年)

● 出展規模

174社・団体/268小間

●来場者数(3日間)

合計 **36,852** 名 ※同時開催展含む



前回来場者一覧(2022年) ※一部抜粋

※一部抜粋

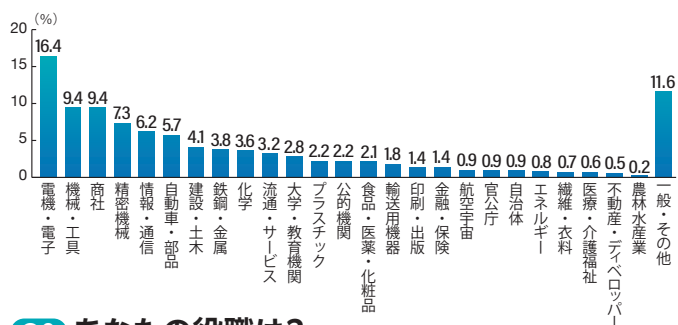
あ	キリンホールディングス クックパッド クボタ 熊谷組 慶應義塾大学 経済産業省 監視庁 KDDI 神戸製鋼所 コカ・コーラボトラーズジャパン 国土交通省 コクヨ 国立高等専門学校機構 コニカミノルタ 小林製薬 コマツ	セコム ゼンショーホールディングス セントラル警備保障 総合警備保障 そごう・西武 ソニー ソフトバンク	た	日産自動車 日清食品ホールディングス 日本オーテスエレベータ 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 日本新薬 日本通運 日本電信電話 日本特殊陶業 日本ハム 日本原子力発電 日本航空 日本精工 日本総合研究所 日本たばこ産業 日本電産	本田技術研究所	
い	味の素 アズビル アマダ アマノ いすゞ自動車 出光興産 イトーヨーカドー インテル ウソオ電機 宇宙航空研究開発機構 ABB エスビー食品 NOK ENEOS LGエレクトロニクスジャパン 大阪ガス 大塚商会 大林組 オリエンタルモーター オリックス オリンパスメディカルシステムズ	サイゼリヤ 埼玉県 サッポロビール サムソンエレクトロニクス サンスター サントリーホールディングス JR東日本 ジェイテクト 敷島製パン 静岡県 島津製作所 清水建設 シャープ シャトレーゼ すかいらくホールディングス スズキ SUBARU 住友化学 住友商事 スリーエムジャパン 積水化学工業 積水ハウス	ダイキン工業 大成建設 大日本印刷 大和ハウス工業 竹中工務店 タスキ 中外製薬工業 筑波大学 TDK 帝人 デリカシェフ テルモ 東急 東京エレクトロン 東京大学 東京電力ホールディングス 東京都 東芝 東北大学 東洋紡 東レ TOTO 特許庁 凸版印刷 トヨタ自動車 トラスコ中山	は	ハウス食品 パスコ パナソニック パラマウントベッド 東日本高速道路 東日本旅客鉄道 日立建機 日立製作所 日立物流 ファウエイ ファナック 不二越 富士通 フラザー工業 フランスベッド ブリヂストン ぺんてる 防衛省 防衛大学校 法務省 HOYA 北海道 Bosch	ま マツダ マルハニチロ 丸紅 ミズノ 三井物産 三井不動産 三越伊勢丹 三菱ケミカルグループ 三菱重工業 三菱電機 三菱マテリアル ミツ星ベルト 村田製作所 明治 モスフードサービス 森永製菓
か	カインズ 花王 カオ計算機 鹿島建設 神奈川県 カルビー 川崎重工業 岐阜県 京都大学		な		や 安川電機 ヤマザキマザック ヤマト運輸 USN 横浜銀行	
					ら ライオン ライフコーポレーション 楽天グループ LIXIL リクルート リコー リンガーハット ロイヤルフードサービス ローマ	
					わ YKK	
					(五十音順)	

(五十音順)

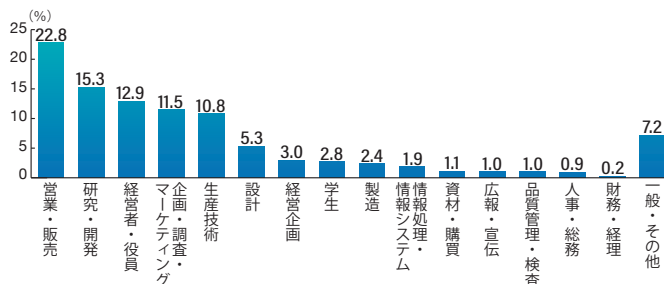


前回来場者アンケート(2022年)

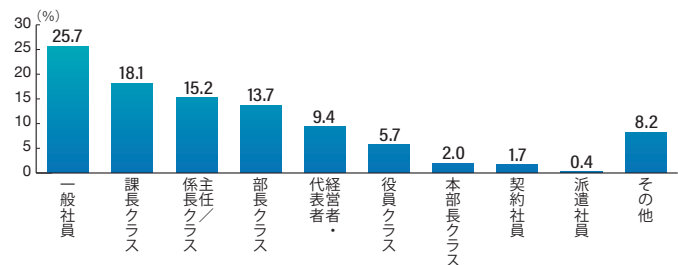
Q1. あなたの業種は？



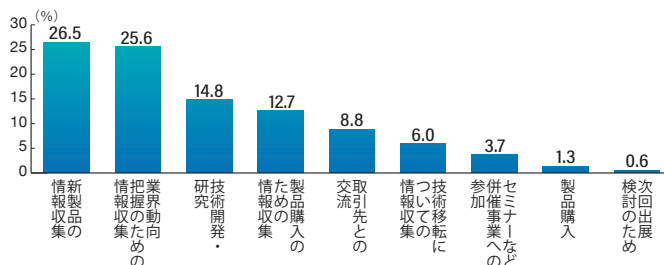
Q2. あなたの職種は？



Q3. あなたの役職は？



Q4. あなたの来場目的は？



▶出展お申し込み・お問い合わせ先

日刊工業新聞社 イベント事業部「Japan Robot Week」事務局

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 ●TEL:03-5644-7220 ●E-mail:autumnfair@nikkan.tech

公式
Webサイト
はこちら

